

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	介護計画書を職員全員同じ目標を見据えることはもちろん、計画実践中も利用者様の変化にともきめ細かく対応していく取り組みを行う。	常に利用者の状態を観察共有している。変化があれば、職員間で対応を検討し、その部度対応を見直し、改善していく姿勢を大切にしてきた結果、利用者の状態は安定している。	・利用者の状態が安定してい安心といつも感じている。 ・全てに気遣い、安心できる施設です。	事業所の改善計画を具体的にわかりやすく項目を挙げ、職員間で共有することで、事業所全体で達成できるよう努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染予防の取り組みを継続すると同時に、施設内での利用者様の生活環境については、平常に戻していく。	五類に移行しても、いわき市の感染状況は予断を許さない状況であるため、マスクの着用、手洗いうがいを徹底し、市外の方には抗原検査を継続して行ってい。	・事業所を継続してくれていて本当に助かります。 ・健康管理に注意していて良いと思います。 ・利用者がプロア外のテラスに出て過ごす機会が増えやす。	・事業所の知で野菜、果物を栽培し、手作りの食事、おやつを楽しんで頂けるよう努める。 ・ホール内、玄関前、ドアティックには常に植物を飾り、心安らぐ空間づくりに心がける。 ・利用者がプロア外のテラスに出て過ごす機会が増えやす。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の回覧板等の情報やイベントを利用者様とも共有し、興味関心を引き出し、参加につなげていく。	回覧板等の情報は職員から利用者に伝えることで職員、利用者間で話題が広がり、地域への関心を引き出すことが出来たと考えている。	・大変良い取り組みである。利用者の地域への関心が高まり、愛着等も生まれる感じます。	・地域の心配な方に対しては、地域包括支援センター、区長、民生委員等と連携し、協力できるようにしていく。
D. 地域に出て向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナの終息の兆しが見えた際は、行事の幅を広げていく。地域にある資源を有效地に活用できる取り組みをしていく。	小川町の自然豊かな地域性を生かして、季節ごとの収穫物を手作りの昼食、おやつ等で味わって頂いた。春の花見や秋の紅葉時期は、送迎の時間を利用して、日によって頃路を変えたり、街並みの変化を楽しんでいたなどことができた。	利用者の年齢や健康状態もあるので大変だとは思うが、出来るだけお願いしたかった。	送迎、訪問時等に利用者の近隣関係に目を配り、関係性の円滑化継続を支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議メンバーと情報交換の機会を増やし、会議再開に向けてスムーズにつなげていく。	五類に移行しても、いわき市の感染状況は予断を許さない状況であるため、家族会を再開出来ていない。会議の補足的役割として、「ひまわりの郷通信」にて、施設の様子を伝えている。	ご数年間、運営推進会議が開催されておりらず、施設内の様子や取り組みを評価する事が難しい。会議で頂いた意見等をより良い施設づくりの為に生かしていく。	感染対策を十分図りながら、定期的に対面での運営推進会議の開催を再開する。会議で頂いた意見等をより良い施設づくりの為に生かしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	夜間を想定した避難訓練のシミュレーションを行った。コロナ後の地域住民の方との協力体制を整えていく。	消防署立ち合いの防災訓練に今年は参加することができた。事業所としての防災訓練は、夜間を想定し、時間帯により2人あるいは人体制時の避難の確認を数回行うことが出来た。	重要な点であるが、しっかりと行っている事は評価できる。	災害時を想定した訓練から考えられる問題について具体的な解決策を工夫していく。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 3月 8日 (16:30 ~17:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	佐藤 根本 斎藤 石原

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	11 人	1 人	人	14 人

前回の改善計画	ケアマネからの情報はもちろん、自らのはじめのかかわりで得た情報を口頭、連絡ノート等を利用し、積極的に他職員に発信していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネからの情報、職員間での口頭、連絡ノートを利用しての情報共有は良く機能していた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	11			14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができますか？		14			14
③	本人がまだ慣れていない時に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか？	4	10			14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	10	2	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ミーティングで情報共有し、他職員からのアドバイスを元に声掛けの仕方等、配慮しながら支援できている。 初期支援として得た情報を職員間で、口頭や連絡ノート等で確認支援に役立てている。 利用者の基本情報を共有し、忘れてしまったら、再度カルテを見直し利用者のADLの変化を見守りながら介護している。 利用開始時は、本人、家族の方の不安も多いと思う。その点に注意して介護できている。 サマリ等で分からぬところは本人、家族からの情報共有を元に不安のないように声掛けしている。 本人家族にとって不安にならない様な声掛けは常に実行している。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 送迎しない職員は家族に会うことが少ない。送迎している職員からの情報で配慮に努めるようにしているが、自ら発言することが困難な利用者の支援には苦慮している。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 送迎に関わることが少ない職員も、家族が訪れた際にこちらで過ごされている様子を伝えながら、家での様子を伺う等積極的に情報収集し、限られた時間内でも早期に良い関係性を築けるよう意図的な声掛けを行っていく。
---------------	--

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年3月8日(16:30~17:00)
2、「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	佐藤 根本 斎藤 石原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	12人	2人	人	14人

前回の改善計画	意思表示が難しいあるいは悲観的な利用者に対して、職員がきめ細かく情報共有しながら関わることが出来た。 利用者の思いと家族との関係性についても短期目標、長期目標のように小ステップから実現できるような関わりが行えると良いと考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかつていますか?		11	3		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか?	1	12	2		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		12	2		14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか?		12	2		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
「～したい」又は出来ることを妨げない様に支援している。 本人が悲観的であって、その時点でもレベルやある程度の意思を見て、少しでも思いに添う形を模索している。 特に短期目標を日々達成できるよう設定、提案することで、本人のやる気を引き出し、1日を楽しく過ごせる工夫をしている。 日々の関わり方をどのようにしていくと目標に近づけるか、その都度話し合っている。 日常の会話や介護に関わりながら、利用者の思いを引き出すようにしている。 利用者は高齢であるため、穏やかに日々を過ごしていただくことを心がけている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
高齢化社会になり老々介護になってきているため、本人中心に考えたいが、現実的には家族中心になってしまふことが多い。 利用者の家に帰りたい思いが家族にとっては重荷になることもある(身近なところでは外泊、外出) 本人が希望することが、必ずしも実現出来ることは少ないと感じてしまう。 家族の状況によっては、家に帰りたくても帰れない状況がある。 本人と家族との「～したい」の融合。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
本人と家族との「～したい」の現実的な落とし所を探りながら、介護職員が本人、家族のために支援できるよう関わっていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年3月8日(16:30~17:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	佐藤 根本 斎藤 石原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	4人	10人	人	人	14人

前回の改善計画	利用者の変化に気づいた際は、速やかに職員間で共有していく。その後の変化についても継続してミーティング等で話し合い、都度検討し、対策を立て実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の変化については、職員間の情報共有はもちろん、医療につないだり、家族にもご協力頂いたり、と対応できた。今後も引き続き家族、医療とのきめ細かい連携を行っていく。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		9	5		14
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	8			14
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		12	2		14
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	9			14
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できていますか?	2	10	2		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	食事、入浴、排せつ等、時には非言語の行動もチームで連携し、よりよい生活環境の支援をしています。
	安全安心を保ちながら、本人らしさを保持していくことに心がけている。
	本人の気持ちや体調は良く観察し、声掛けをしている。
	食事の摂取量や咀嚼、飲み込み等の觀察をし、本人に合った形態を提案している。(とろみ剤含む)
	排便の訴えがない方は、時間を見ながら誘導している。
	排便コントロールは③④⑤について介護に関わった時、会話する時に思いを引き出せるように対応している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	声にならない声は、なかなか職員間で共有できない。
	気持ちの変化に気づいて職員間で共有しても、場合により、すぐに支援できないこともある。
	高齢化に伴い、認知症が進行し、良い面よりも悪い面の方が多くなっていくため、なかなか対応できない。
	排便コントロールはほぼ出来ているが1~2人については難しい方がいる。スタッフ間で情報を共有して様々な工夫を話し合い、便秘が長期にならないようにしている。薬剤が効きすぎてしまい、泥状便~水様便にならないように配慮している。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	日常生活の中でも、排便は日々の身体及び精神面に大きく影響するが、すぐに薬剤耐性がつきやすいためコントロールが難しい。特に薬剤を利用している利用者を中心に職員間で情報共有を行い、なるべく早期に解決できるよう引き続き努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和6年3月8日(16:30~17:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー 佐藤 根本 斎藤 石原

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできっていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	11人	1人	2人	14人

前回の改善計画	各職員は、ケアマネ・管理者からの情報提供を元に、送迎時等に、家族・近所との関わり、利用者の言動を踏まえて、家族・地域の関係性を維持できるよう支援する。支援する中で各職員が新たに得た情報をケアマネ・管理者にフィードバックすることで、家族・地域の円滑な関係性が保持できるよう支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネ・管理者からの利用者情報を受けて、職員からも利用者の新たな情報のフィードバックもあり、利用者と家族との関係性はほぼ把握出来ている。利用者と地域との関係については、まだ不十分なところがある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	11	1	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	3	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7	5	2	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		8	3	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ケアマネ・管理者からの情報を元に、ミーティングで確認し、介護に生かしている。 情報提供表にて確認し、関わる際に生かしている。 本人と家族の間に立ち、支援をするよう心掛けている。 介護計画、家族の意見を参考し、本人が施設を利用していない時の過ごし方を把握し、関わりに生かしている。 地域で暮らしてきた話を利用者から傾聴している。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 独居の方の支援を必要十分に行うことは難しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 訪問を通して、利用者の日常生活を知り、家族・地域のつながりを維持するよう支援していく。
---------------	---

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 3月 8日 (16:30 ~17:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	佐藤 根本 斎藤 石原

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	10 人	2 人	2 人	14 人

前回の改善計画	傾聴ボランティア等地域の方との触れ合いを検討する。アフタコロナを見据えて、地域のつながりを強化していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度からコロナ前に行っていた介護相談員の方に2回/月の訪問を再開することができた。 コロナも五類に移行し、アフタコロナの状況ではあるが、感染後重症化することもあり、まだ予断を許さない状況と考えている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		8	3	3	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	10	2		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	3	11			14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	12			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者宅訪問時、地域との関わり(隣人との関係)も意識して、繋がりの保持に努めている。 通所者に対して、配食サービス等の地域資源を利用している。 相談員の利用を再開した。 出来る限り、本人、家族の希望通りの支援が出来るように都度話し合っている。 日々の生活の中で少しの変化に気づき職員間で話し合って本人の状態に合わせて支援しています。 ②③④利用者のADLの観察、対応に努めている。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 一時帰宅や外泊を行うための家族への柔軟な支援が不足している
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 一時帰宅や外泊を実現するために、自事業所だけでなく、地域の資源を使って支援するために何が必要か職員間で話し合う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 3月 11日 (16:00 ~16:30)
6. 連携・協働	メンバー	佐藤 斎藤 小幡 石原

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3 人	6 人	5 人	14 人

前回の改善計画	地域の回覧板等の情報やイベントを利用者様とも共有し、興味関心を引き出し、参加につなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	回覧板等の情報は職員から利用者に伝えることで話題が広がり、ある程度地域への関心を引き出すことができたと考える。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	1	2	2	9	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		2	1	11	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？		2	2	10	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		2	2	10	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	福祉用具(シルバーカー、車椅子、室内シューズ)を担当者、利用者、介護職員で話し合い本人の身体に合わせて決定している。回覧板等の情報を利用者とのコミュニケーションに取り入れるようにしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者に地域の回覧板等の情報やイベントは興味があつても、参加が難しく情報提供に留まっている。コロナが5類に移行したが、感染は水面下で広がっているため、なかなか思い切った参加が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	コロナが5類に移行したことと、地域の行事等には従来よりも積極的に参加したいと考えているが、高齢者施設であるため、安全面を考慮し、慎重に取り組んでいく。

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 3月 11日 (16:00 ~16:30)
7. 運営	メンバー	佐藤 斎藤 小幡 石原

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	8 人	5 人	1 人	14 人

前回の改善計画
各職員は利用者、ご家族のニーズを把握し、具体化するための方策をミーティング等で提案していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
各職員は利用者、家族からの情報を口頭、連絡ノートにて共有している。 地域の方や家族から、職員だけでは気づかなかつた課題等も提案していただくこともあり、その都度改善に向けて話し合うことができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		9	2	3	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	10	2	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	5	3	5	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		4	2	8	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
通所利用時、送迎時、利用者本人の訴えや、家族の意見を管理者、ケアマネ、職員間で共有し、より本人に適した生活を考えている。 地域の方や家族から、職員だけでは気づかなかつた課題等も提案していただくこともあり、その都度改善に向けて話し合っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
ほとんど地域の方と語り合う機会がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
運営推進会議(利用者家族会)の開催により、得られた情報(地域の情報)を利用者や、家族のニーズと照らし合わせ、支援に生かしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 3月 11日 (16:00 ~16:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	佐藤 斎藤 小幡 石原

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	5 人	4 人	5 人	14 人

前回の改善計画
通常勤務している現場以外の現場(GH、通所、小規模多機能)で様々な利用者様やご家族との関りを経験し、通常の現場での働き方に生かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
五類に移行しても、コロナ感染が蔓延していたため、別施設との交流はあまりできなかった。 防災訓練の訓練方法についての情報共有について、一部行うことが出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		4	4	6	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3	4	8	14
③	地域連絡会に参加していますか		2	1	11	14
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		7	1	6	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
三施設の交流は、防災については月ごとの訓練の見学等行ったり、消防署立ち合いの訓練の見学を行ったりと実施することができた。 サービス提供記録やヒヤリハット記録を活用しながら、安全に支援するように心がけている。 様々なリスクについては、その都度ミーティング等で日々予防や対策が話し合われている。 メーカー主催のおむつ研修、陰部洗浄研修に参加した。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナが5類に移行しても、市中感染が続いているため、三施設の交流は防災関係以外はあまり行えていない。 研修などへの参加ができていない(研修の参加者から話を聴き、業務に生かしていきたい)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
介護関連のインターネットの動画等をお互いに紹介、共有することで、職員の研鑽、意見交換を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年3月11日(16:00~16:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	佐藤 斎藤 小幡 石原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	9人	人	人	14人

前回の改善計画	利用者の安全安心を第一に考え支援すると同時に、本人の自由を奪わない関りができるか、疑問等が生じたときに適宜ミーティングで対応を検討し実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の安全安心と本人の自由度については、相反することも多いため、介護側では安全安心を重視する傾向が強かったと考える。疑問点等の職員間での話し合いは出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	14	0			14
②	虐待は行われていない	14	0			14
③	プライバシーが守られている	10	4			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	3		7	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	4			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の安心安全を第一に考え支援している。 言葉、話し方でも本人への配慮を心がけている。 現在、身体拘束、虐待は行われていない。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見人制度の活用 見守りを行なながら、同じフロアでミーティングを行っており、日常生活で困ったこと等、職員間で共有すべき情報について一部利用者の耳に入ることもある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
見守りを行ながらのミーティングを行っているため、配慮が必要な情報については、レベル分けをし、口頭で伝えてもいいこと、声に出さずに筆談・連絡ノート等を利用することに分けて情報共有に努める。	